

NY マーケットレポート (2016 年 9 月 28 日)

NY 市場では、OPEC の非公式会合の結果や、イエレン FRB 議長をはじめ複数の米当局者の発言を控えて様子見ムードも強まっており、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。また、序盤に発表された米耐久財受注は、予想よりも良い結果となったものの、反応は限定的であった。そして、イエレン FRB 議長が、「FOMC の過半数が年内の利上げが必要になるだろうと判断している」との発言したことを受けて、年内の利上げに対する期待感が高まり、ドルが買われた。その後、OPEC の非公式会合で、生産枠が 8 年ぶりに減産で合意したとの報道を受けて、原油や株価が上昇となり、円売りが優勢となった。

2016年 9月28日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	100.77	100.80	100.28
EUR/JPY	112.78	112.89	112.46
GBP/JPY	131.06	131.17	130.49
AUD/JPY	77.35	77.36	76.86
EUR/USD	1.1192	1.1220	1.1182

LONDON	高値	安値
USD/JPY	100.83	100.59
EUR/JPY	113.10	112.77
GBP/JPY	131.19	130.72
AUD/JPY	77.40	77.07
EUR/USD	1.1224	1.1192

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	100.73	100.81	100.47
EUR/JPY	112.97	113.05	112.52
GBP/JPY	131.11	131.28	130.60
AUD/JPY	77.44	77.50	76.92
NZD/JPY	73.31	73.34	72.84
EUR/USD	1.1216	1.1237	1.1187
AUD/USD	0.7688	0.7692	0.7645

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18339.24	+110.94
S&P500	2171.37	+11.44
NASDAQ	5318.55	+12.84
日経225 (CME)	16540	+75
トロント総合	14731.43	+173.39
ボルサ指数	48046.56	+314.72
ボエスパ指数	59355.77	+973.28

9/29 経済指標スケジュール

08:50	【日本】8月小売売上高
08:50	【日本】8月小売業販売額
08:50	【日本】8月百貨店・スーパー販売額
15:00	【南アフリカ】8月民間部門信用
15:00	【南アフリカ】8月マネーサプライM3
16:00	【トルコ】9月経済信頼感
16:55	【ドイツ】9月失業率
16:55	【ドイツ】9月失業者数
17:30	【英国】8月マネーサプライM4
17:30	【英国】8月消費者信用残高
17:30	【英国】8月住宅ローン承認件数
17:30	【英国】8月住宅証券融資高
18:00	【欧州】9月経済信頼感
18:00	【欧州】9月消費者信頼感
18:00	【欧州】9月サービス業信頼感
18:00	【欧州】9月業況判断指数
18:00	【欧州】9月鉱工業信頼感
18:30	【南アフリカ】8月生産者物価指数
21:00	【ドイツ】9月消費者物価指数
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】2Q GDP
21:30	【米国】2Q個人消費
21:30	【米国】8月卸売在庫
23:00	【米国】8月中古住宅販売仮契約
03:00	【メキシコ】政策金利発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1323.70	-6.70
NY 原油	47.05	+2.38
CME コーン	329.00	-2.75
CBOT 大豆	948.25	-4.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.754%	0.746%
3年債	0.859%	0.854%
5年債	1.131%	1.114%
7年債	1.394%	1.384%
10年債	1.568%	1.556%
30年債	2.288%	2.278%

ドイツ10年債	-0.145%	-0.138%
英国 10年債	0.679%	0.672%

9/29 主要会議・講演・その他予定

- ・黒田日銀総裁 挨拶
- ・イエレンFRB議長、パウエルFRB理事 講演
- ・フィラデルフィア連銀総裁 講演
- ・アトランタ、ミネアポリス連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 30

＜ 経済指標の結果 ＞

8 月米耐久財受注（前月比） 0.0%（予想 -1.5%・前回 3.6%）

前回発表の 4.4%から 3.6%に修正

8 月米耐久財受注〔除輸送用機器〕 -0.4%（予想 -0.5%・前回 1.1%）

前回発表の 1.3%から 1.1%に修正

＜米耐久財受注＞

	8 月	7 月	6 月	5 月	4 月	3 月
耐久財新規受注	0.0	3.6	-4.3	-2.9	3.2	2.0
輸送機器除く	-0.4	1.1	-0.3	-0.5	0.3	0.3
国防関連除く	-1.0	3.0	-4.0	-1.6	3.6	-0.5
資本財	-1.0	10.7	-12.4	-6.0	7.5	7.8
輸送機器	0.6	8.9	-11.5	-7.1	8.5	5.3
総受注残	-0.1	-0.2	-0.9	0.0	0.6	0.0
総在庫	0.1	0.4	-0.1	-0.4	-0.4	-0.2

＜ 経済指標のポイント ＞

8 月の米耐久財受注は、前月比ほぼ横ばいの 2317 億 1700 万ドルとなり、市場予想のマイナスにはならなかった。輸送機器が増加する一方で一般機械などが減少、ただ 企業の設備投資の先行指標はプラスが続いた。

①輸送機器が+0.6%となり、自動車・同部品が+0.7%、民間航空機が-21.9%、国防関連の航空機は+24.2%。

②輸送機器を除いた受注は-0.4%となり、金属製品が-0.5%、一般機械が-0.5%、電算機・電子製品が-0.2%、電機・家電が-2.5%、一次金属は+0.2%だった。

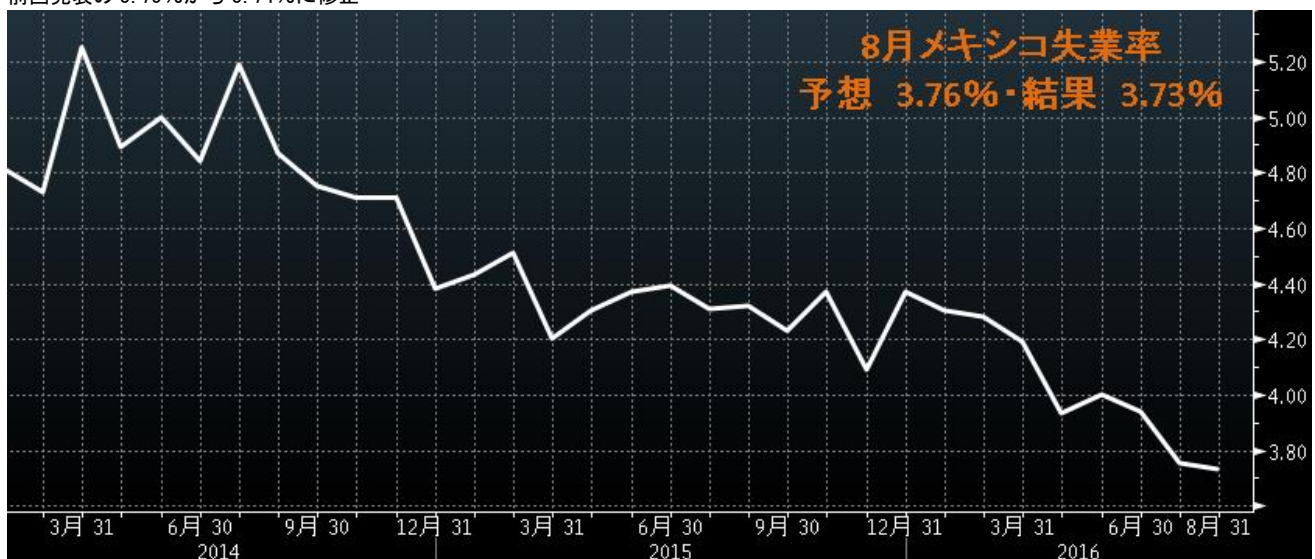
③資本財は-1.0%となり、資本財から国防関連を除いた受注は-4.4%、民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は+0.6%と 3 ヶ月連続の増加、国防関連は+23.6%となった。

22 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

8 月メキシコ失業率 3.73%（予想 3.76%・前回 3.74%）

前回発表の 3.75%から 3.74%に修正



出所：Bloomberg

22 : 00

《 要人発言 》

カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「経済は過熱せずに進展する余地がまだある」
- ・「利上げはバブル抑制策としては強い痛みを伴う」
- ・「米雇用市場は、健全な雇用創出を継続している」
- ・「米マイナス金利採用の可能性は極めて低い」
- ・「FRB はより長い期間にわたり金利を低水準にとどめることができる」

22 : 30

《 要人発言 》

ドラギ ECB 総裁

- ・「ECB の金融政策は成長と雇用の支えになってきた」
- ・「ECB の政策により最終的にはインフレ率を目標値に引き上げることができる」
- ・「将来的に金利をより高い水準に再び引き上げるには、現時点では低金利が必要だ」

23 : 00

《 要人発言 》

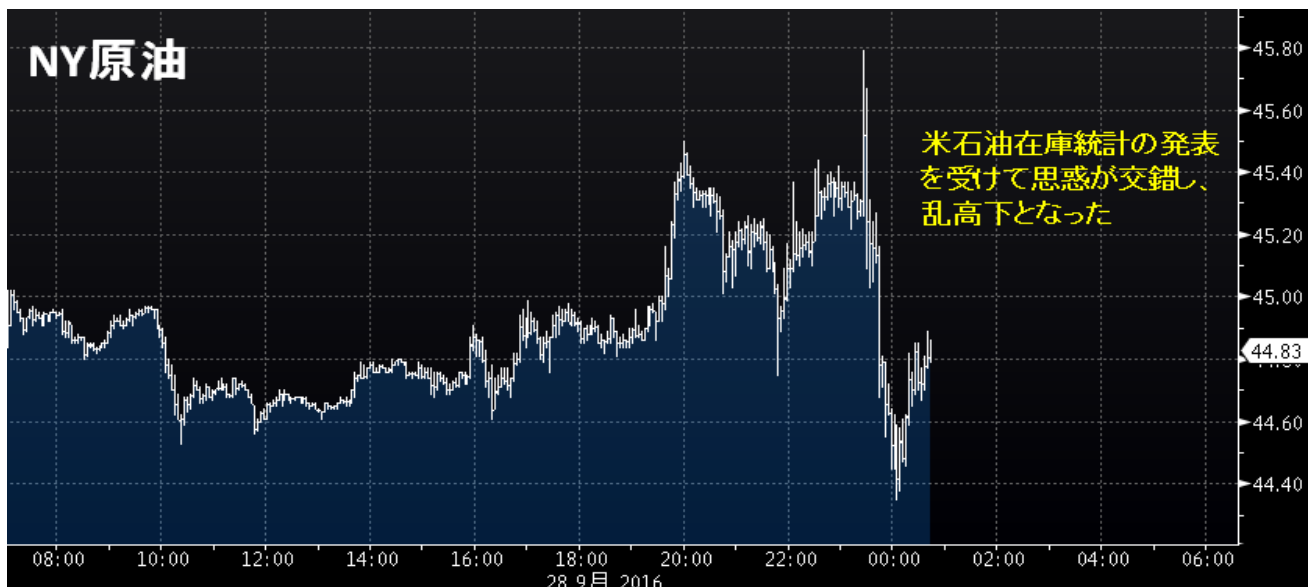
イエレン FRB 議長～議会証言テキスト（経済や金利見通しに言及せず）

- ・「大手米銀、危機以降に著しく力強さを増した」
- ・「金融の安定脅かす新たなリスクへの警戒を続ける必要がある」
- ・「ウォール街の大手金融機関は、健全性を増した」

23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・188 万バレル減少
ガソリン在庫・・・203 万バレル増加
留出油在庫・・・191 万バレル減少



出所：Bloomberg

23 : 50

《 要人発言 》

イエレンFRB議長

- ・「雇用の創出は、持続可能なペースを上回っている」
- ・「インフレに上向き圧力はみられない」
- ・「FOMCは失業率がさらに下がるとみている」
- ・「現在の軌道で徐々に緩和を解除していく」
- ・「FOMCの過半数が年内利上げ必要になるだろうと判断している」
- ・「FOMC政策議論に政治が影響したことは一度もない」



出所: Net Dania

0:30

《 要人発言 》

イエレンFRB議長

- ・「大き過ぎてつぶせない銀行の問題の重要性は低下した」
- ・「FRBは大手銀行でのコンプライアンス問題を懸念している」
- ・「FRBは、大手銀行のコンプライアンス検証を開始した」

1:05

《 要人発言 》

IMF専務理事

- ・「データが適正軌道に乗ればFOMCは行動すべきだ」

《欧州のポイント》

①シャフィク英中銀副総裁は、英国のEU離脱決定のショックに対処するため、中銀は「いずれかの時点で」追加の景気刺激策が必要に

なる公算が大きいとの見解を示した。シャフィク副総裁は、国民投票を受けて、英国はかなり大きな経済的ショックに見舞われることは疑いないと考えていると指摘した。また、英国企業による EU 市場へのアクセスが縮小する可能性に言及し、離脱手続きの長期化は企業投資の見通しの足かせになるとの見方を示した。そして、経済が変化に対応していく過程は痛みを伴うとし、そこは金融政策で下支えできる部分で、経済活動の減速が致命的な結果をもたらすことのないよう、いずれかの時点で追加の刺激策が必要になってくると述べた。

②オルセン・ノルウェー中銀総裁は、先週に政策金利予想を小幅引き上げたが、中銀は通貨安を引き続き目標にしているとの見解を示した。総裁は、金融政策で対応する余地があると指摘した。また、インフレ見通しは引き続き抑制されていると述べた。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、資本不足懸念を背景に最近大きく下落していたドイツ銀行の株価が持ち直したことで投資家心理が改善し、主要株価は反発となった。



出所：Bloomberg

1:15

《要人発言》

イエレン FRB 議長

- ・「米経済成長は期待に達していない」
- ・「生産性の伸びは異例の緩慢なペースだ」
- ・「FRB は株式購入を認められていない」

2:00

《米財務省 7 年債入札》

最高落札利回り・・・1.389%（前回 1.423%）

最低落札利回り・・・1.250%（前回 1.288%）

最高利回り落札比率・・・96.45%

応札倍率・・・2.47 倍（前回 2.38 倍）

2:30

《要人発言》

エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・「金融政策は非常にゆっくりと正常化へむかうだろう」
- ・「低金利環境はしばらく続く」
- ・「インフレが目標に近いなら利上げ時期は近い」

3 : 15

OPEC は、日量 3250 万バレルの産油制限で合意～関係者

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 6.70 ドル安の 1 オンス=1323.70 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して底堅く推移したこと、ドルの代替資産とされる金の需要が後退し売りが優勢となった。



出所 : Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 2.38 ドル高の 1 バレル=47.05 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC が非公式会合で、原油価格の上昇に向けた生産調整で合意したと伝わったことから、買いが優勢となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

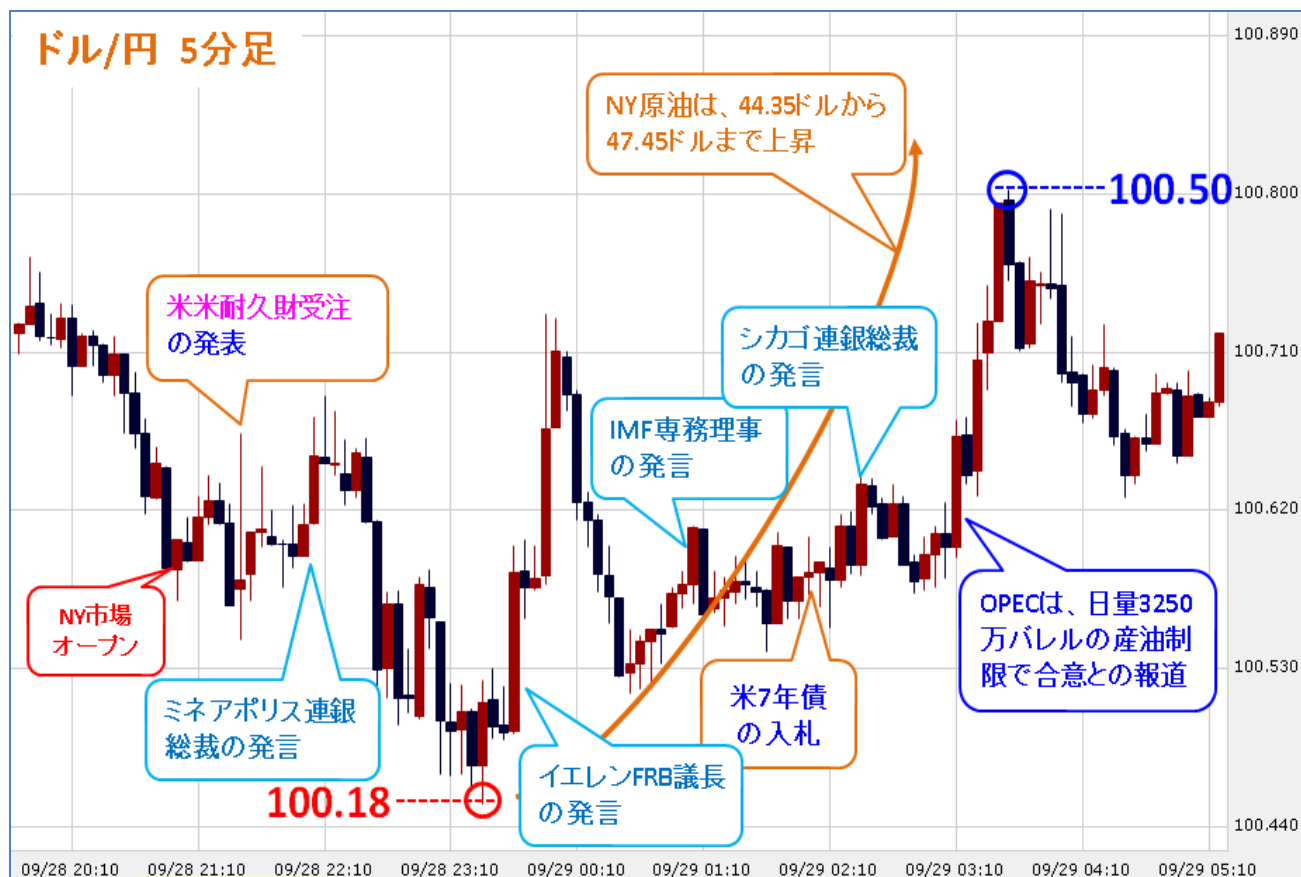
米株式市場は、欧州主要株価が上昇したことなどを受けて、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。しかし、石油在庫統計を受けて原油価格が下落となったことから、主要株価もマイナス圏まで下落する動きとなった。しかし、OPECの原油生産調整が合意したとの報道を受けて、原油価格が急反発となり、エネルギー関連株が上昇したことを受けて、主要株価も終盤まで堅調な動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、OPECの非公式会合の結果や、複数の米当局者の発言を控えて様子見ムードが強まっており、序盤のドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。その後、米当局者の発言を受けて、年内の利上げに期待が高まったことや、OPECの生産枠調整で合意したとの報道を受けて、原油や株価が上昇となり、円売りが優勢となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。